

1. 感染症速報（壱岐地区）

令和7年9月19日作成

2025年 第37週 9月8日 ～ 9月14日									
作成：長崎県壱岐保健所 企画保健課									
疾患名	状況 定点当り	疾患名	状況 定点当り	疾患名	状況 定点当り	疾患名	状況 定点当り	疾患名	状況 定点当り
インフルエンザ	0.00	RSウイルス 感染症	0.00	咽頭結膜熱	0.00	A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	0.50	急性呼吸器 感染症(ARI)	29.33
警戒:開始30 終息10		警戒:開始 - 終息 -		警戒:開始3 終息1		警戒:開始8 終息4		警戒:開始 - 終息 -	
感染性胃腸炎	2.00	水痘	0.00	手足口病	0.00	伝染性紅斑 (リンゴ病)	1.50	※定点数3:インフルエンザ 新型コロナウイルス感染症 急性呼吸器感染症(ARI)	
警戒:開始20 終息12		警戒:開始2 終息1		警戒:開始5 終息2		警戒:開始2 終息1		※定点数2:上記以外の疾患	
突発性発しん	0.00	ヘルパンギーナ	0.50	流行性耳下腺炎 (おたふくかぜ)	0.00	新型コロナウイルス 感染症	6.33	※急性呼吸器感染症(ARI)とは、急性の上気道 炎(鼻炎、副鼻腔炎、中耳炎、咽頭炎、喉頭炎)又 は下気道炎(気管支炎、細気管支炎、肺炎)を指す 病原体による症候群の総称です。インフルエンザ、 新型コロナウイルス、RSウイルス、咽頭結膜熱、A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎、ヘルパンギーナなど も含まれ、報告数は重複します。	
警戒:開始 - 終息 -		警戒:開始6 終息2		警戒:開始6 終息2		警戒:開始 - 終息 -			
	発生報告 なし		少数の発生あり		流行に注意 【注意報レベル】		流行中 【警報レベル】		

※警報レベル基準値は表示のとおり(-は設定なし)。注意報レベル基準値は、インフルA:10 水痘:1 その他は設定なし。

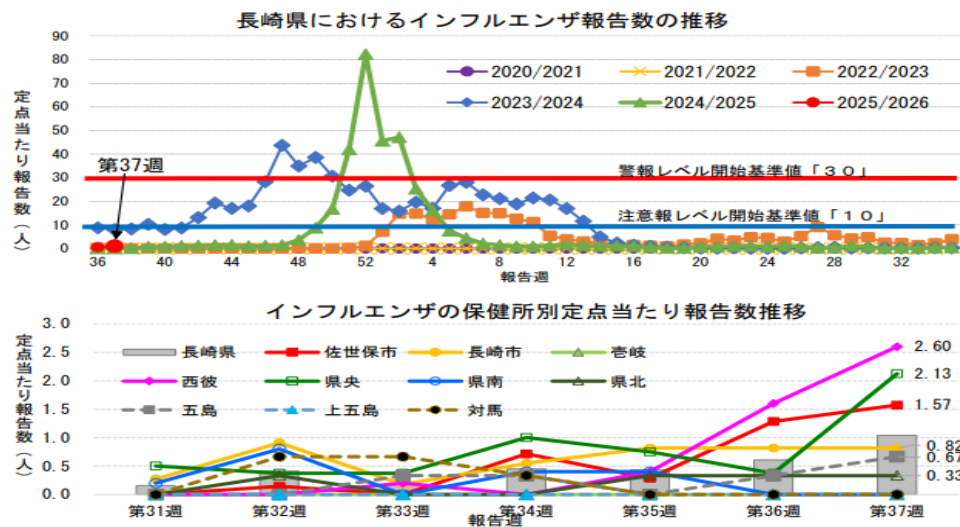
2. トピックス

★県内がインフルエンザの流行期に入りました！

壱岐管内では、インフルエンザの定点当たり報告数は、2025年第31週以降第37週まで「0.00」の状況ですが、**長崎県全体では、第37週の報告数が「1.04」となり、流行開始の目安となる「1.00」を上回りました。**地区別にみると、西彼地区（2.60）、県央地区（2.13）、佐世保地区（1.57）は他の地区より多く、「1.00」を超えています。

インフルエンザの流行期に入り、今後患者数の増加が懸念されます。手洗いの励行、適切なマスクの使用、換気などの基本的な感染対策に努め、感染予防を心がけましょう。また、10月頃から接種が開始されるインフルエンザワクチンは、発症及び重症化を一定程度予防する効果があります。希望される方は、早めにワクチンを接種しましょう。

※詳細は、[長崎県感染症情報センターホームページ「インフルエンザ」](#)をご覧ください。



★伝染性紅斑（リンゴ病）が流行しています！

壱岐管内では、2025年第34週に定点当たり報告数が警報レベル開始基準値「2.0」を超える「2.50」となって以降、第35週：1.00、第36週：1.00、第37週：1.50」と推移しています。引き続き感染予防に努めましょう。

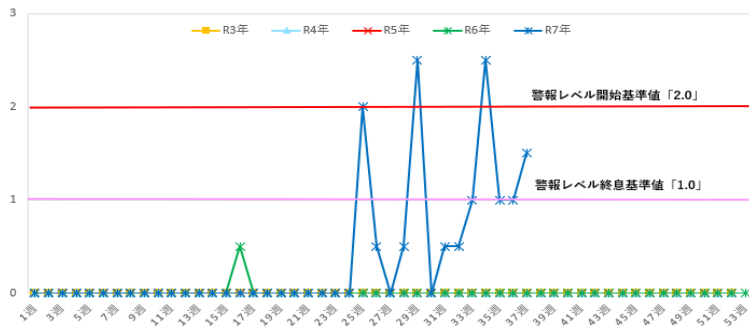
県内においては、2025年第37週の報告数は129人で定点当たり報告数は4.16でした。第32週に警報レベル開始基準値「2.0」を超え、6週続けて警報レベルの報告数となっています。地区別では、10保健所中7保健所において、警報レベルの報告数となっています。

伝染性紅斑は、ヒトパルボウイルスB19による感染症で、小児を中心にみられる流行性の発しん性の病気です。両頬がリンゴのように赤くなることから、「リンゴ病」と呼ばれることもあります。約10～20日の潜伏期間の後、微熱やかぜの症状などがみられ、その後、両頬に蝶の羽のような境界鮮明な赤い発しん（紅斑）が現れます。続いて、体や手・足に網目状やレース状の発しんが広がりますが、これらの発しんは1週間程度で消失し、ほとんどは合併症を起こすことなく自然に回復します。一方で、これまで伝染性紅斑に感染したことのない女性が妊娠中に感染した場合、胎児にも感染し、胎児水腫などの重篤な状態や、流産のリスクとなる可能性がありますので、注意が必要です。

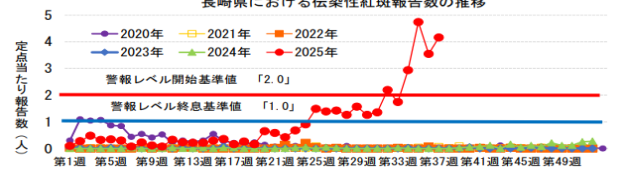
感染経路は、飛沫感染や接触感染で、かぜ症状のある時期にウイルスの排出が最も多くなるとわれています。治療薬やワクチンがないため、感染予防が重要です。特に妊娠中の方やそのご家族ではかぜ症状がある方との接触をできる限り避け、手洗いやマスクの適切な着用など感染予防に努めましょう。

(参考)厚生労働省 [伝染性紅斑](#)

伝染性紅斑（リンゴ病）報告数の推移（壱岐地区）



長崎県における伝染性紅斑報告数の推移



長崎県における伝染性紅斑の年齢別報告数（2025年第1週～第37週）



★新型コロナウイルス感染症に注意しましょう

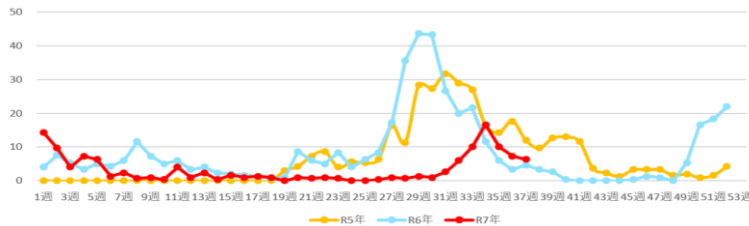
壱岐地区における定点当たり報告数は、第35週：10.00、第36週：7.33、第37週：6.33と減少傾向となっていますが、引き続き注意しましょう。

長崎県における第37週の定点当たり報告数は「14.61」でした。地区別では、対馬地区（30.00）、県北地区（25.67）が多くなっています。年代別にみると、10歳未満（25.5%）、10代（23.5%）が多くなっています。

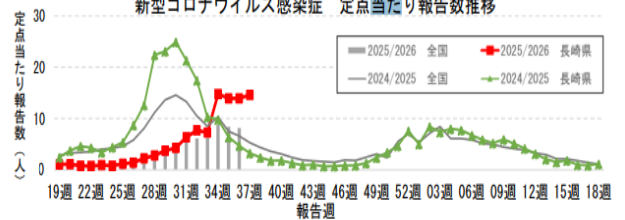
今後も場面に応じたマスクの着用や手洗い、換気、三密の回避などの基本的な感染対策に努めましょう。

※詳細は、[長崎県感染症情報センターホームページ「新型コロナウイルス感染症」をご覧ください。](#)

新型コロナウイルス感染症報告数の推移（壱岐地区）



新型コロナウイルス感染症 定点当たり報告数推移



9月1日～9月30日は「健康増進普及月間」
9月～11月は「健康増進強化期間」

【統一標語】 1に運動 2に食事 しっかり禁煙 良い睡眠
～健康寿命の延伸～

生活習慣病は日常生活の在り方と深く関連しており、健康の保持・増進を図るには、運動習慣の定着や食生活の改善といった健康的な生活習慣の確立が重要になります。
このため、生活習慣病の特性や運動・食事・禁煙など個人の生活習慣の改善の重要性について一人ひとりの理解を深め、健康づくりに取り組んでいきましょう！

今より+10分運動 +1皿の野菜 減塩 禁煙・受動喫煙 質のよい睡眠を



《9月24日～30日は「結核・呼吸器感染症予防週間」です》

結核は現代の病気です。令和3年における長崎県の結核罹患率は13.5で全国ワースト1位となっています。それ以降、減少傾向にはありますが、長崎県は全国平均よりも高く注意が必要です。

〈結核の症状〉
結核の症状は、風邪に似た症状から始まりますが、咳や痰が長引く、微熱、身体のだるさが2週間以上続く場合は結核を疑いましょう。
※咳など結核の典型的な症状が出ないこともあります。（特に高齢者）

〈予防のポイント〉
・風邪のような症状が2週間以上続く場合は早めに医療機関を受診しましょう。
・十分な睡眠、バランスのとれた食事、適度な運動、禁煙など健康的な生活を心がけましょう。
・年に1回健康診断（胸のレントゲン検査）を受けるようにしましょう。
・乳幼児の結核予防には、BCG接種が有効です。壱岐市からの案内に従い生後5カ月から8カ月の間に接種してください。

結核は、早期発見・早期治療が大切です！



《夜間検査を開始します》

壱岐保健所では、令和7年10月から夜間検査（原則第3火曜日）を開始します。日中に検査を受けることが難しい方等は、この機会に是非ご利用ください。なお、夜間検査はオンラインでの事前予約制となっておりますので、二次元コードまたは、URLからアクセスして頂き、詳細を確認した上で申し込みをお願いいたします。オンライン予約は9月17日（水）9:00～受付開始です。

【検査項目】

・HIVと梅毒（採血）

【検査結果】

・検査後、結果をお知らせするまでに約2週間～4週間程度かかります。
・検査結果については、直接対面でご告知をしますので、必ず事前に保健所へ連絡のうえ、ご本人が検査申込書の控えを持って保健所へお越しください。（電話や郵送での結果通知は行っていません。）

【予約申込はこちら】
https://apply.e-tumo.jp/pref-nagasaki-u/reserve/offerList_detail?tempestSeq=10103

